令和
7
年度

政策3　未来につながる魅力的なまちづくり

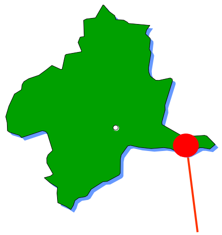
（都）中央通り線　歩道整備事業

事業継続中

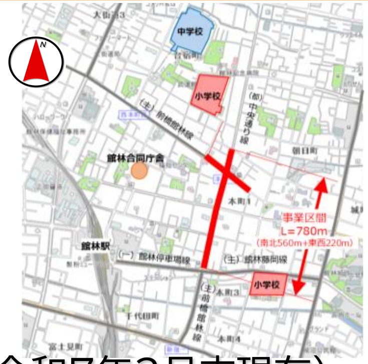
どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

道路を拡幅し、
歩道を整備します



事業位置
館林市


N
中学校
小学校
（都）中央通り線
（主）前橋館林線
館林合同庁舎
本町1
朝日町
事業区間
L=780m
（南北560m+東西220m）
館林駅
（一）館林停車場線
（主）館林藤岡線
小学校
（主）前橋館林線
本町3
千代田町
本町4
富士見町
大街道3

地元の声

- 歩道がないので、車や電柱にぶつかりそうで怖い。（通学利用者）
- 子どもたちのために安全な道路にしてほしい。（地元住民）
- 商店街を活性化してほしい。（地元住民）

事業の概要

■ 事業箇所：館林市本町
■ 事業内容：歩道整備　延長780m、幅員4.0m
　　　　　　電線共同溝整備　延長 1,180m
■事業期間：平成28年度～

■ 現在の交通量　自動車：7,795台/日
（R3年度 ）　歩行者：　61人/12時間
　　　　　　　自転車：137台/12時間

事業前

◆ 歩道が無く、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがあります。
◆ 沿道に電柱が建っているため、歩行者の通行の妨げや、地震時倒壊の恐れがあるほか、商店街の景観を害しています。

事業前の状況

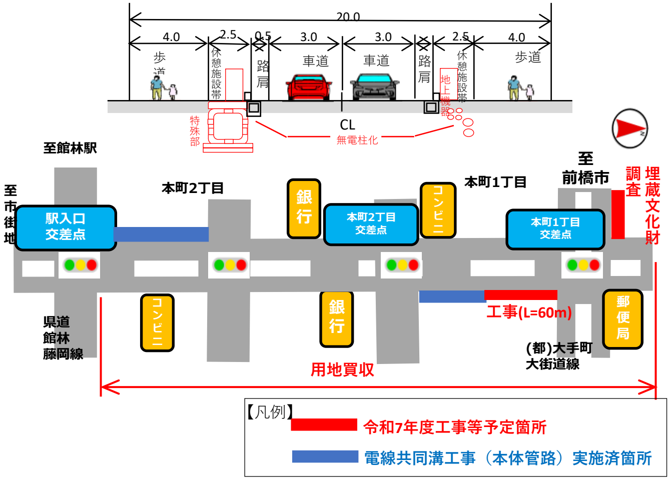
事業後

◆ 歩道設置により、安全な通行空間を確保します。
◆ 無電柱化、休憩施設帯、デザイン歩道等の整備により、商店街のにぎわいを創出する「歩きたくなる」魅力的な歩行空間を創出します。

事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前	実施後（目標）
幅員2.0m以上の歩道整備率	0%	100%
電柱倒壊のおそれ	あり	なし
官民連携でのまちづくりの取組事例	事例なし	事例あり

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）


20.0
4.0
2.5
0.5
3.0
3.0
2.5
4.0
歩道
休憩施設帯
路肩
車道
車道
路肩
地上機器
休憩施設帯
歩道
特殊部
CL
無電柱化
至館林駅
至市街地
本町2丁目
駅入口交差点
銀行
本町2丁目交差点
コンビニ
本町1丁目
至前橋市
本町1丁目交差点
埋蔵文化財調査
県道館林藤岡線
コンビニ
銀行
工事(L=60m)
郵便局
(都)大手町大街道線
用地買収

【凡例】
🟥 令和7年度工事等予定箇所
🟦 電線共同溝工事（本体管路）実施済箇所

今、何をしているか

令和7年度は、用地買収を進めるとともに、埋蔵文化財調査及び電線共同溝工事を実施します。

事業のすすみ具合　事業開始 ● ・・・・・・ ● 事業完了